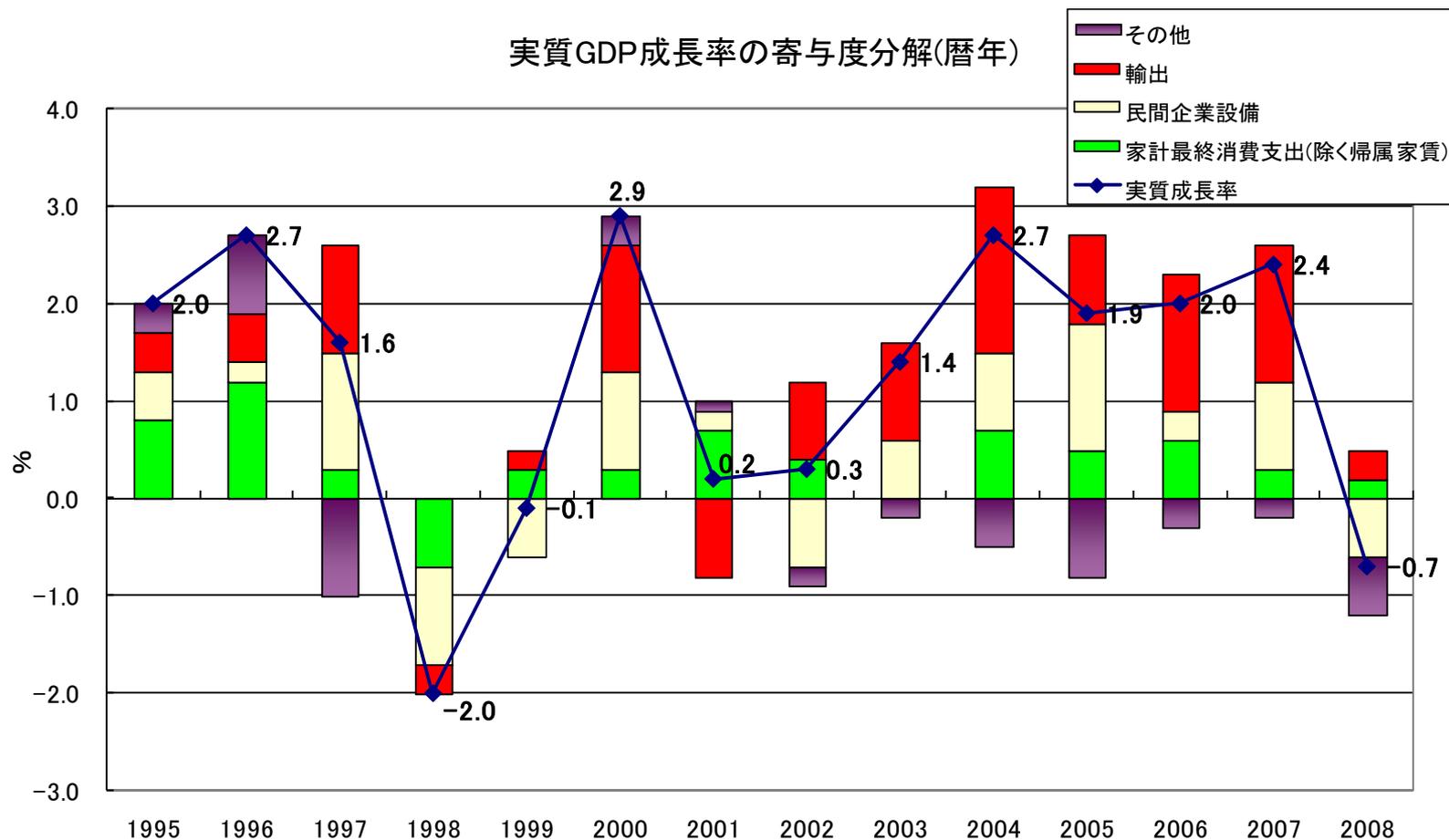


# 多様性、国際化、イノベーション： 中小企業政策の新しい視点

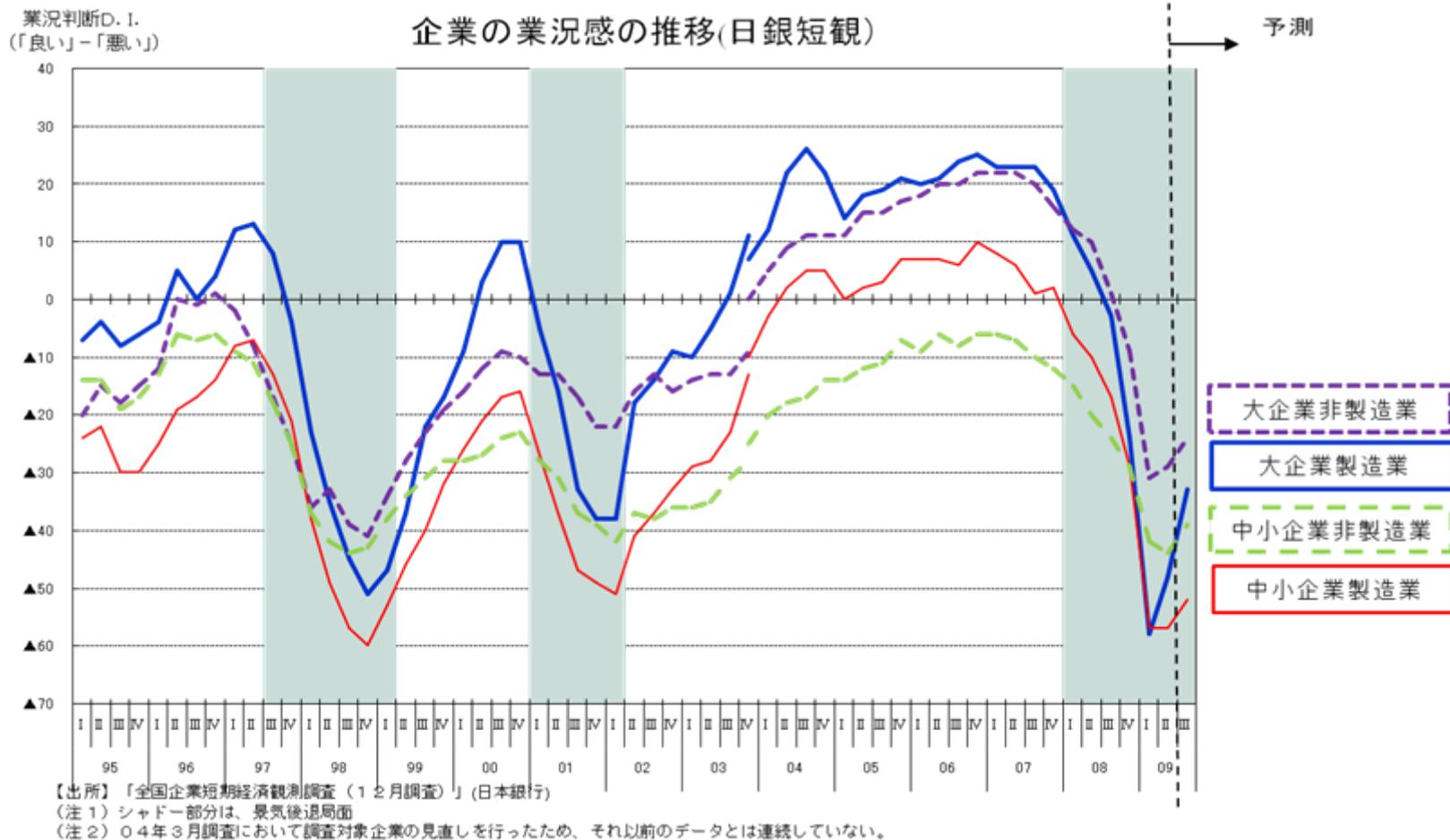
## 趣旨説明

京都大学 経済研究所  
先端政策分析研究センター  
八代 尚光

# 02年から07年の景気回復は輸出主導

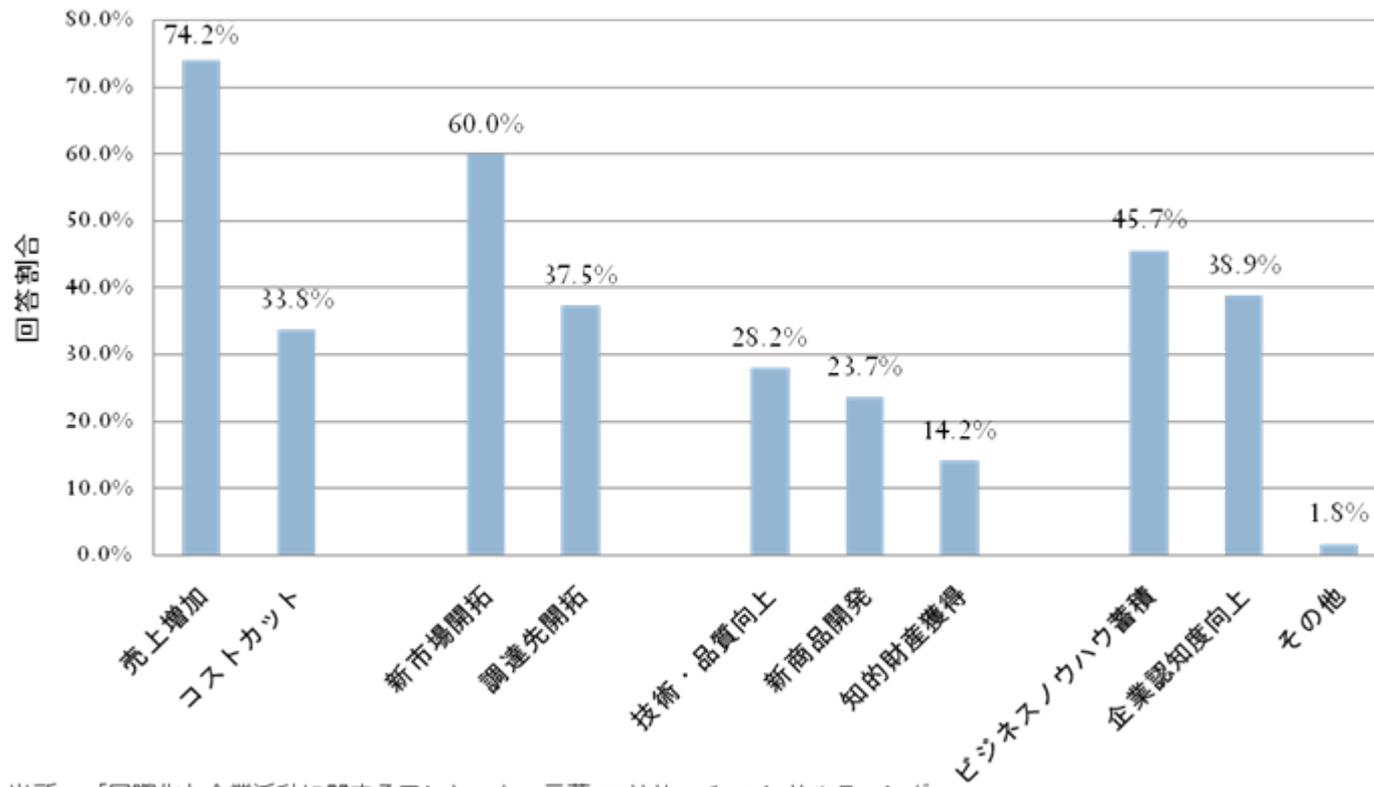


# 輸出企業と非輸出企業の間で業況感到明確な差



# 他方、国際化は日本企業の発展にとって 単なる追加需要の獲得以上の意味

## 中小企業が国際化によって得たと感じる効果



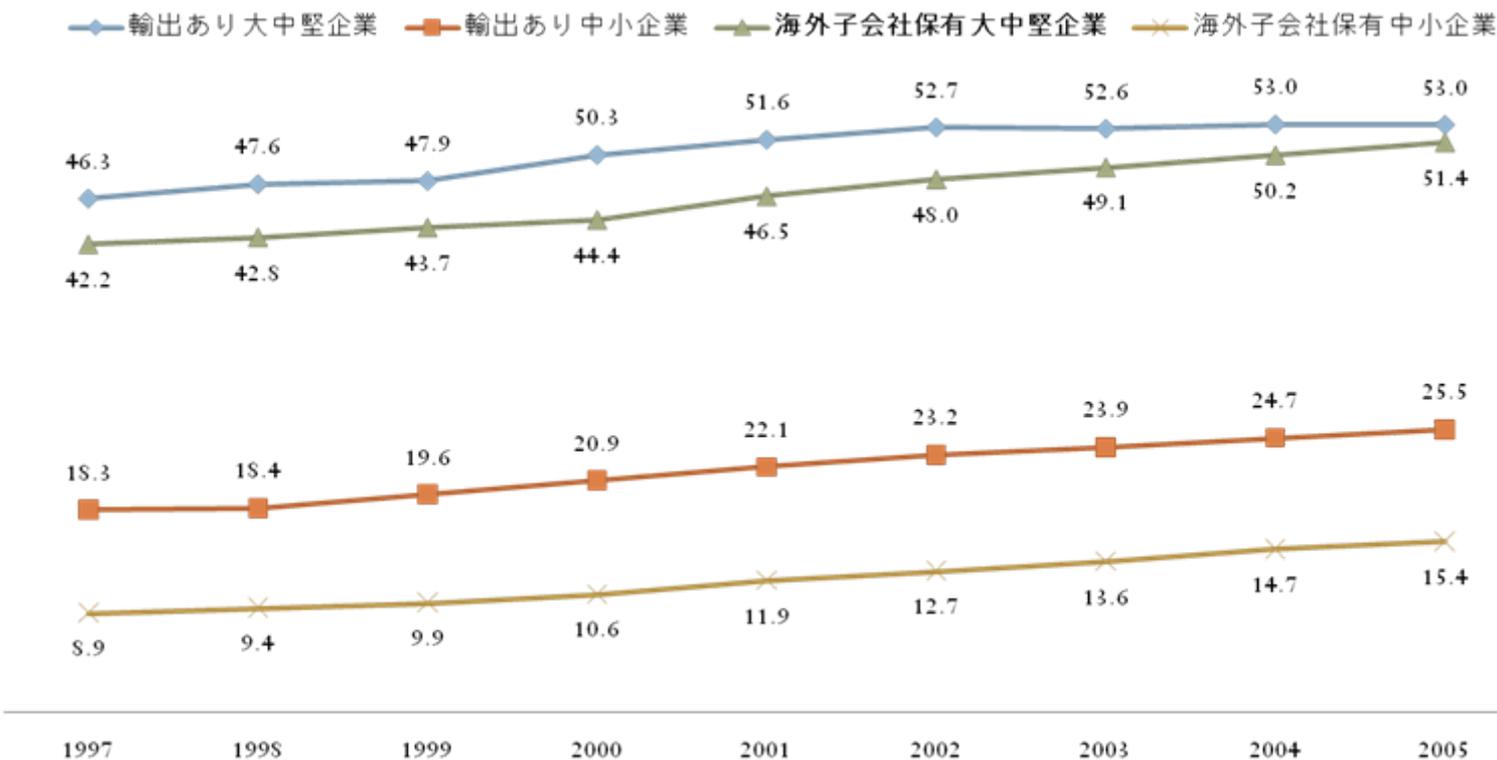
出所：「国際化と企業活動に関するアンケート」三菱UFJリサーチ&コンサルティング

(注)ここで国際化とは、輸出、直接投資、現地企業との業務提携を指す。

複数回答のため、合計して100%を超える。

# 中小企業の国際化は進展しているものの 大企業との比較して依然限定的

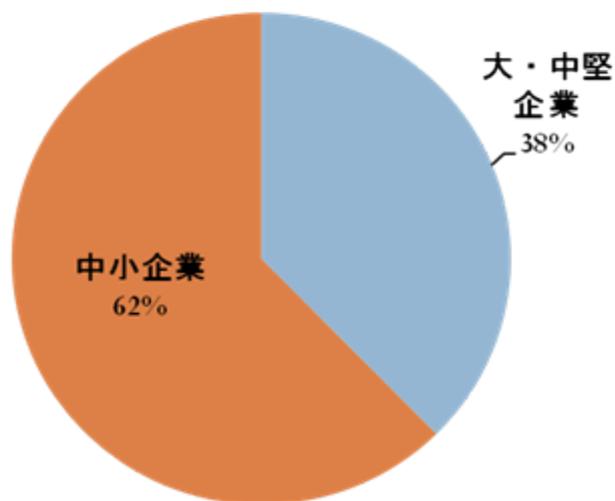
## 国際化企業の割合 (%)



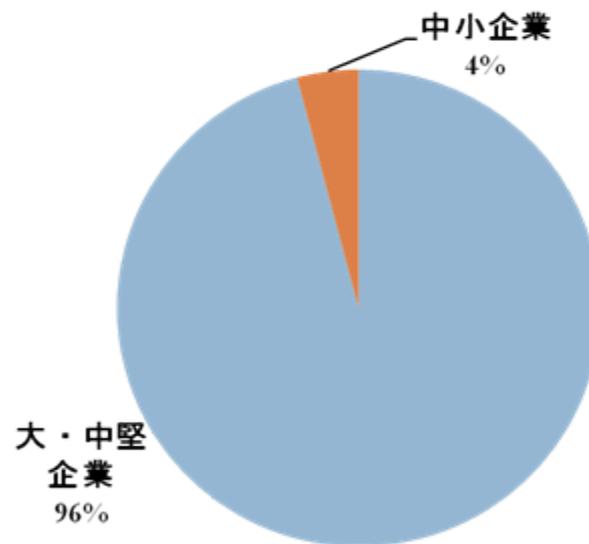
出所：企業活動基本調査(経済産業省) より計算  
中小企業は従業員数50人以上300人以下の企業

# 中小企業は輸出企業の過半を占めるが 輸出額は大企業に集中

輸出企業数に占める  
中小企業の割合



輸出額に占める  
中小企業の割合



出所：企業活動基本調査(経済産業省)より計算。

注：製造業企業のみ。中小企業は従業員数50人以上300人未満の企業

# 問題意識

- 企業の発展において、国際化とイノベーションはどのような意味を持つのか。
- 海外市場への進出は、先端技術の観察、潜在的市場の発見などを通じて、企業にイノベーションの機会をもたらすと考えられる。
- こうした効果は大企業より、本格的な海外展開の余地が残る中小企業において、今後より期待される。
- 海外進出した中小企業が、国際化をイノベーションにつなげるためには、どのような取組が必要なのか。
- 国際化企業としての高い可能性を有する中小企業が、海外進出に成功するためには、どのような要素や努力が必要なのか。
- こうした中小企業の国際化とイノベーションの好循環を促進するために、どのような政策的視点、どのような支援が求められるのか。

# 本日の流れ

- 基調講演「国際化・イノベーションと中小企業-企業の異質性を重視せよ-」  
若杉隆平 RIETI FF/京都大学経済研究所 教授
- 講演1 「中小企業の海外進出とイノベーションの実態」  
丸屋 豊二郎 (独)日本貿易振興機構 理事
- 講演2 「臥龍企業の海外進出に向けて」  
戸堂 康之 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 准教授

休憩 (20分間)

- パネルディスカッション  
「国際化とイノベーションの好循環を支援する中小企業政策とは」
- 戸堂康之 東京大学 准教授
- 丸屋豊二郎 (独)日本貿易振興機構 理事
- 松浦正則 株式会社 松浦機械製作所 会長
- 伊藤恵子 専修大学 経済学部 准教授
- 佐藤樹一郎 中小企業庁 次長